

指令業務共同運用 R6.4.1～

【指令センターを共同整備し運営する】

- ・通報受付の集約化……消防指令センターに両市の119番通報を集約する
- ・即時の応援出動指令……指令員が通報段階で状況を判断し、即時に応援出動指令を出す
- ・直近出動指令……高機能指令システムで全車両の位置を把握し、現場に近い車両へ出動指令を出す

※詳細は、「伊賀市・名張市消防指令業務共同運用基本構想（素案）」を参照



共同運用開始後

出動指令



応援出動



相互応援出動 R4.4.1～

【各市の消防の責任を果たしつつ、迅速・柔軟に応援出動を行う】

- ・救急……多人数のけが人発生時、全救急隊出動時、市境界付近で発生した特定の事案 など
- ・火災……大規模、広範囲、中高層建物、危険物施設 など ※
- ・救助……大規模、救出が困難 など
- ・訓練、研修……応援に必要な能力や高度な知識、技術を習得するため、訓練や事例検証会などを合同で実施する

※地方債を活用し、応援出動に必要な車両（はしご車等）を更新整備する

火災予防業務連携 R4.4.1～

【各市の消防の責任を果たしつつ、柔軟に事務の連携を行う】

- ・予防検査……消防用設備や危険物規制の検査を必要により合同で行う
- ・火災原因調査……火災の原因や損害の調査を必要により合同で行う
- ・火災予防啓発……イベントでの広報やリーフレットの作成などを合同で行う
- ・研修……業務の効率化や統一化を目指し、合同の研修会や業務事例発表会を実施する

